



# 縁シロ！ ENJOY

44 エンジョイ 2024 新年号 JANUARY <https://www.affetto.co.jp/>



熊野那智大社

## あけましておめでとう

新年あけましておめでとうございます。辰年は十二支の中で、唯一の架空の生き物ですよね。権力や隆盛の象徴として、大きく成長し形が整う年と言われているそうです。今年は、昨年まで努力してきたことが実を結んで成就する年になるように、しっかりと地に足を付けた仕事をしようと思います。世界各地での紛争や、自然災害の増加等、不安要素もたくさんある昨今、少しでも皆様のリスクを軽減出来るよう、お力になれば幸いです。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

濃明 宏



@カ クチーナ ケ インカント 次頁インタビュー角地さんのお兄さんのお店

皆様新年あけましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になりました。物価の高騰の影響は修理費用にも反映し保険業界も無関係ではなくなっております。私自身昨年は母が亡くなり、コロナに初めてかかったりと大変な年でした。今年は本厄となるため恐怖に慄いております。週一のテニスでは体力向上とまではいかず、毎呼吸を切らしていたため、毎回息を切らしていたため、毎回切らしては体力作りをしなればと思ひ、ランニングを始めることにしました。心身ともに健康で仕事にも邁進してまいりますので、本年もよろしくお願ひいたします。

米花章弘

新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひ申し上げます。私は昨年還暦を迎えました。後は、ついにコロナに感染して高熱を出したり、腰が痛かったり、目も見え難かったり大変でした。幸い仕事の方は皆様に助けて頂きながら、無事に活動する事が出来ました。大変感謝しております。最近は何れにおいてもデジタル化が進み、保険業界も新しいサービスを導入して頑張っています。それらを皆様にも解りやすく説明できるよう勉強中ですので、是非とも使ってみて下さい。今年一年が良い年になりますよう、一緒に頑張っていきたいと思います。

津田 弘一

新年あけましておめでとうございませう。一年が過ぎるのがとても早く感じられます。昨年は家に関する事が次々に舞い込んできました。普段は見ても忘れてしまいう占いに「あなたの視点は家族に移っていき家族へのケアが課題」と書かれてあった事を思い出し驚愕しています。康第一・家族円満でミッション遂行を目指します。そして皆様にも笑顔あふれる良い一年となりますようにお祈り申し上げます。

木崎 智子

アボカド大使 様  
「育」  
子育てを通して、家族の絆を育んだ1年。私自身、人としても母としてもまだまだなので、一緒に成長したい。

ちー 様  
「勉」  
受験生だから！勉強がんばりました。

あみ 様  
「勝」！  
受験に勝つためにー！

名古屋の M 様  
「安」  
新天地での3年目、ようやく自分の居場所を感じ、落ち着き、気持ち安らぎ、楽しむことができた1年になったかなと思います。

イノッチかけてと誓った日から♪ 様  
「痛」  
ヒザ痛い、胸痛い、頭痛い。1年中たえず痛かったのです。



今回のお題は：  
あなたの今年(2023年)の漢字

ひでポン 様  
「還」  
めでたく？還暦を迎えました。益々元気に毎日過ごして行けますよう、頑張ります。

友くん 様  
「薬」  
脳梗塞・腰痛・両足首の腫れとむくみ・アキレス腱痛等々の一年間でしたので毎朝毎夕の薬の服用量が多い！！神仏の御加護を！！



代表取締役 濃明 宏  
「旅」です。昨年は、福島のペンギン、登山、ゴルフは北海道・秋田・新潟高知に行ってきた。今年は、内定も取って、海外でも行けたらいいな！



営業部長 津田 弘一  
「整」腰痛の為、接骨院に通っています。少しずつ良くなってきました。



事務 辰己 貴子  
「再」です。リサイクル着物にはまって手芸と着付けが楽しかった。また、父が七くなって関係者と再会できたので。



営業 米花 章弘  
「走」です。運動不足解消のため走り始め、多少やせました。病氣ではございませぬがご安心下さい。



営業&事務 木崎 智子  
「痛」です。突然、腕が動かなくなりました。もうすぐ治るといいお祈り



事務 濃明 恵利子  
「勤」公私共にとにかく、動き出す(現在進行形)元気に動けるとい感謝です。

◎次回のお題は、『新学期の思い出』です。  
FAX、メールでお寄せ下さい。お礼として、図書カードを進呈いたします。

ご応募メール: e-koaki@affetto.co.jp  ご応募ファクス: 0798-43-0081

三井住友海上火災保険 三井住友海上あいおい生命保険  
株式会社 アフェット  
〒663-8184 西宮市鳴尾町1丁目14-2  
TEL: 0798-43-0041 FAX: 0798-43-0081  
Email: e-koaki@affetto.co.jp



お客さまインタビュー く オペラ歌手 角地 正直 さん・中井 祥子 さん く

豊中市で【SACRA the OPERA -サクラ座オペラ-】を企画・運営されている声楽家のご夫婦です。オペラの主催公演、コンサート、イベント・パーティー演奏、学校公演、レッスン、と幅広く活動されています。

〜〜オペラってどんなもの？ その魅力は？

約400年前にイタリアで発祥。お芝居を歌で進める、総合的な舞台芸術です。元は貴族のためのものでしたが、産業革命を経て一般の人達にも身近な題材を扱うようになり、喜歌劇のオペレッタができ、やがてマイクロホンが入り、アメリカに渡って踊りの要素が増えてミュージカルとなりました。オペラはイタリア語やドイツ語で演じるので（日本公演では字幕が出る）難しく思われるかもしれませんが、歌舞伎も何を言ってるか、全部はわかりませんよね。オペラも古語なのでイタリア人が見てもあまり分からないそうです。だから言葉がわからないからと敬遠するのはちょっともったいないです。歌舞伎と同じで、あらすじを知っている状態で何回も見て、見どころが来たらこれこれ！とか、今回の演出はこうなったのか！というのが面白いところでもあります。400年前に作られたものを、現代の人間がそういうことあるよなあと思えるところにもロマンがあると思います。お芝居の解釈も、キリスト教のことや時代背景を知っているとより理解が深まります。宗教、歴史、文化も学べる、知的好奇心が満たされるというのも魅力の一つです。一方で、難しく考えすぎず、例えば絵画でも〇〇派だとか画家のバックグラウンドがどうかは置いて、ただ美術館に行くのが好きというような、気軽な感覚で楽しめたらいいとも思います。



**正直さん:**お父さんお兄さんもテノール歌手、お母さんお姉さんはソプラノ歌手、お祖父さんは大阪市音楽団で50年団長を勤めたという音楽家一家で育つ  
**祥子さん:**3歳からこどもコーラスとバレエを始める。宝塚歌劇やミュージカルに憧れる学生時代を過ごすも、オペラの魅力にハマり音大へ。コロラトゥーラと呼ばれる超高音のレパートリーが開花！背も高く宝塚の男役を夢見たこともあったけれど、むしろ目指さなくてよかったかも？

〜〜お二人の活動の特徴、力を入れていること、アピールポイントは？

例えば新国立劇場でやるような、お金をかけてオーケストラを入れてというものではなく、身近に音楽を楽しんでもらえるような活動は自分達でやった方が上手くいくなあと思ったんです。キャストも内容も自由にできます。ただ、面倒な仕事がたくさんあるので、お互い一人だったら絶対やってないです。結婚して一緒に活動しているのでできるんだと思います。柱となる思いの一つ目は自分が歌や演奏を楽しむこと。二つ目は、その楽しさをみんなに伝えたいという啓蒙活動。三つ目はいかに自分がより高みに行けるかという自己研鑽。やっぱり芸術家なので、いつか至高の一品、一曲を、と思っていかに自分を磨いていくかということ。

啓蒙活動としては、音楽を楽しむための素養を少しでも伝えたい。その一つが音の倍音（自然界にある和音のようなもの、共鳴する音）を感じるということですが、それを感じてもらえるのがマイクを使わないクラシック音楽の一番いいところ。これこそが生の音楽を聴く醍醐味なので、ぜひ生で体験して頂きたいです。クラシック音楽がポピュラーにならない要因の一つは、お客さんに努力を強いるところ。聞く気じゃないと聞かえてこないものがいっぱいあります。コンサートに行くと、咳一つしてはいけない雰囲気緊張するかもしれませんが、まずはそれに馴染むことです。オペラなら前もってあらすじを読んでおくといいです。敷居が高いと思われがちですが、大人になって初めてちょっといいバーに行って、自分でお酒を頼んだ時ぐらいいい感じに来てください。そこでお酒も美味しく雰囲気もいいな、また来ようと思えるか、こんなところで飲むより家で飲んでの方がいいわと思うのかは人それぞれですけど。オペラも1回勇気を持って来てみて、気に入ったらまた来てもらえたらいいですね。オペラは芸術とエンターテインメントの両面あると思います。わかりやすく物語や声を楽しんでもらったり、感動した〜と思ってもらえるエンタメ商業的側面。そして音楽ファンや自分たち音楽家の知的好奇心を満たす、より高みの芸術としての作品づくりを目指すというところなんです。

どちらもやりがいがあるので、バランスよくやっていきたいと思っています。

近日公演！  
1/19(金)祥子さんリサイタル  
詳細はHPをご覧ください



コンサートでは夫婦ならではの阿吽の呼吸での司会や解説を入れたり、オペラでは司会がない分プログラムや字幕を工夫したりしているので、初めての方にも楽しんで頂けると思います。普段聞く機会のない人にも気軽に聞いてもらいたいため、敷居を下げるようにしていますが、一緒に演奏活動をしている皆さんはすごく高レベルな音楽家ばかりですから、本物を気軽に聞いてもらえます。音楽家同士の活動の場としても大きな意味があり、新しい音楽家の方と知り合えたりして、実は音楽家自身の方が楽しいのかもしれません。古い音楽とお話に、どの時代でも琴線に触れることがあり、話の題材に頷くところがあったり、何か学びがあったり、見ている間は非日常空間に行けたり、そんな魅力をぜひ生演奏でバイブレーションを感じてもらえたらと思います。有名な大きい劇場だとチケット代が何万円もしますが、私達の公演なら気軽に来ていただけるかなと思います。

〜〜活動の一つに「ペラオペラ」があります

落語とオペラのコラボレーションで、落語家、ピアニスト、私達歌手で、モーツァルトの「魔笛」(まてき)をやっています。教養講座という意味合いもあり、学校公演やお寺の催しとして数多く公演しています。オペラのストーリーを落語家さんがオリジナルの台本を書いて落語の手法でしゃべり、私達は名シーンを演奏します。オペラは普通、この役はこの声域、声種(ソプラノ、テノールなど)の人がやると決まっていますが、ペラオペラでは声種を超えて、私(祥子さん)は3人の女の子の役を歌い分け、主人(正直さん)もテノール、バリトン両方の役をやっています。美味しいとこ取り公演です。



「トスカ」オペラ = 指揮者が見る楽譜。ここから主催公演に向けて楽器のチョイスや演出を練っていく

〜〜次回の主催公演は2024年6月、ブッチーニの「トスカ」です

私達の主催公演の特徴は日本語で台詞をやっていくところと、イタリア語で歌うところを混ぜたハイブリッド形式。日本語も文語ではなく、今の人が聞きやすい訳しています。それも自分達で作るので、まず原作を把握するところから始まります。舞台セットは簡素ですが、その分、使用ホールの設備を最大に活かすアイデアや、シーンに合う背景をAIに描いてもらって投影するなど、意見を出し合って工夫しています。ご興味持っていただけましたら、私たちの公演にぜひお運びください♪

SACRA the OPERA -サクラ座オペラ-

サクラ座オペラ <http://www.sacra-opera.com>

080-3132-8180 (中継) [sacraopera@gmail.com](mailto:sacraopera@gmail.com)

祥子さんの実家の家業をお二人で継いでいます

墓石記念碑  
中井石執店  
創業 昭和31年 地域に根ざした石材店



舞台の大道具もごなす正直さん曰く「石屋も舞台も尺貫法、通じるところがある」奥はピアノのレッスン室♪

②のひとりごと

老人ホームで暮らす94歳の伯母に会いに4年ぶりの高知へ。時間があつたので、ふと思い立って昔祖父母宅のあった町を訪ねることにしました。高知市内から西へ、ちんちん電車で揺られること40分で伊野に到着。祖父母宅のあった場所には当然ながら新しい家が建っていますが、近所の旅館が現存するのには驚きました。当時でも子ども心にお客さんおるんかな？と心配していたぐらいなのに。

帰りの電車まで40~50分あるので、記憶を頼りに母の従甥(従兄弟の子)の家を探してみます。通りを1本間違えたりしてウロウロしたけれど、表札を発見。思いきってピンポンするも応答無し。仕方ない。今この家にその人が住んでいるかどうか定かでないのです。諦めて引き返す途中、ふと立ち寄った雑貨店のおばさんに軽く聞き込みしてみると...そこからは事態が大きく動き、20分後、私は、母の従甥の亡くなった奥さんの妹さん(初対面!)宅のリビングでジュースをご馳走になりながら、駆けつけてくれた母の従甥と対面を果たしていました。自分の厚かましさに笑えてきますが、なんという幸運。更に厚かましいことに、電車に乗り損ねたので、母の従甥(81歳)に車で送ってもらいました。一部始終を東京在住の従兄に報告したら「関東人には真似できないな」と笑われました。あーそう？関西のおばちゃんにかかったらこんなもんやで!



1904(明治37)年開業の  
とさでん交通は、現在走る  
路面電車の中で最古のもの